

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公表番号】特表 2016-538771 (P2016-538771A)

【公表日】平成 28 年 12 月 8 日 (2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2016-067

【出願番号】特願 2016-526370 (P2016-526370)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

H 0 4 W 92/18 (2009.01)

H 0 4 W 12/04 (2009.01)

H 0 4 M 3/42 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 0 1 B

H 0 4 W 92/18

H 0 4 W 12/04

H 0 4 M 3/42 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 4 日 (2017.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Proximity Services (ProSe) をサポートする第 1 の UE (ユーザ機器) と、

前記 ProSe をサポートする第 2 の UE と、

PC3 インタフェースを介して前記第 1 の UE と通信する第 1 の ProSe Function と、

前記 PC3 インタフェースを介して前記第 2 の UE と通信する第 2 の ProSe Function と、

PC2 インタフェースを介して前記第 1 の ProSe Function 及び前記第 2 の ProSe Function と通信する ProSe アプリケーションサーバと、を備え、

前記第 1 の UE は、セキュリティ構成要素を得るため、前記第 1 の ProSe Function に第 1 の信号を送り、

前記第 1 の UE は、前記第 1 の ProSe Function からセキュリティ鍵の情報を含む第 2 の信号を受信し、

前記第 2 の UE は、前記セキュリティ構成要素を得るため、前記第 2 の ProSe Function に第 3 の信号を送り、

前記第 2 の UE は、前記第 2 の ProSe Function から前記セキュリティ鍵の情報を含む第 4 の信号を受信する、

移動通信システム。

【請求項 2】

前記第 1 の ProSe Function は、前記第 1 の信号に応答して、サーバに要求を送り、応答し、前記第 2 の ProSe Function は、前記第 3 の信号に応答

して、前記サーバに要求を送り、応答する、請求項 1 に記載の移動通信システム。

【請求項 3】

Proximity Services (ProSe) をサポートする第 1 の UE (ユーザ機器) と、前記 ProSe をサポートする第 2 の UE と、ProSe アプリケーションサーバと、を含む、移動通信システム内の ProSe Function であって、

PC3 インタフェースを介して前記第 1 の UE と通信し、セキュリティ構成要素を得るため、前記第 1 の UE から第 1 の信号を受信し、前記第 1 の UE にセキュリティ鍵の情報を含む第 2 の信号を送信する第 1 の ProSe Function と、

前記 PC3 インタフェースを介して前記第 2 の UE と通信し、セキュリティ構成要素を得るため、前記第 2 の UE から第 3 の信号を受信し、前記第 2 の UE に前記セキュリティ鍵の情報を含む第 4 の信号を送信する第 2 の ProSe Function と、を有する ProSe Function。

【請求項 4】

前記第 1 の ProSe Function は、前記第 1 の信号にตอบสนองして、サーバに要求を送り、応答し、前記第 2 の ProSe Function は、前記第 3 の信号にตอบสนองして、前記サーバに要求を送り、応答する、請求項 3 に記載の ProSe Function。

【請求項 5】

Proximity Services (ProSe) の one-to-one 通信のための移動通信システム内の前記 ProSe をサポートする UE (ユーザ機器) であって

、
前記 ProSe をサポートするもう 1 つの UE に直接通信要求を送る送信部と、

前記 ProSe をサポートし、前記直接通信要求に基づき秘密鍵と完全鍵を生成する制御部とを有し、

前記秘密鍵と前記完全鍵とを用いて PC5 インタフェースを介して前記もう 1 つの UE と ProSe one-to-one 通信を行う、UE。

【請求項 6】

前記もう 1 つの UE は、前記直接通信要求に基づき前記秘密鍵と前記完全鍵を生成する、請求項 5 に記載の UE。

【請求項 7】

Proximity Services (ProSe) をサポートする第 1 の UE (ユーザ機器) と、前記 ProSe をサポートする第 2 の UE と、PC3 インタフェースを介して前記第 1 の UE と通信する第 1 の ProSe Function と、前記 PC3 インタフェースを介して前記第 2 の UE と通信する第 2 の ProSe Function と、PC2 インタフェースを介して前記第 1 の ProSe Function 及び前記第 2 の ProSe Function と通信する ProSe アプリケーションサーバと、を含む移動通信システムの通信方法であって、

前記第 1 の UE は、セキュリティ構成要素を得るため、前記第 1 の ProSe Function に第 1 の信号を送り、

前記第 1 の UE は、前記第 1 の ProSe Function からセキュリティ鍵の情報を含む第 2 の信号を受信し、

前記第 2 の UE は、前記セキュリティ構成要素を得るため、前記第 2 の ProSe Function に第 3 の信号を送り、

前記第 2 の UE は、前記第 2 の ProSe Function から前記セキュリティ鍵の情報を含む第 4 の信号を受信する、
移動通信システムの通信方法。

【請求項 8】

前記第 1 の ProSe Function は、前記第 1 の信号にตอบสนองして、サーバに要求を送り、応答し、前記第 2 の ProSe Function は、前記第 3 の信号にตอบสนองして、前記サーバに要求を送り、応答する、

請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

Proximity Services (ProSe) をサポートする第 1 の UE (ユーザ機器) と、前記 ProSe をサポートする第 2 の UE と、ProSe アプリケーションサーバと、を含む、移動通信システム内の第 1 の ProSe Function と第 2 の ProSe Function とからなる ProSe Function の通信方法であって、

前記第 1 の ProSe Function は、PC3 インタフェースを介して前記第 1 の UE と通信し、セキュリティ構成要素を得るため、前記第 1 の UE から第 1 の信号を受信し、前記第 1 の UE にセキュリティ鍵の情報を含む第 2 の信号を送信し、

前記第 2 の ProSe Function は、前記 PC3 インタフェースを介して前記第 2 の UE と通信し、セキュリティ構成要素を得るため、前記第 2 の UE から第 3 の信号を受信し、前記第 2 の UE に前記セキュリティ鍵の情報を含む第 4 の信号を送信する、

ProSe Function の通信方法。

【請求項 10】

前記第 1 の ProSe Function は、前記第 1 の信号に応答して、サーバに要求を送り、応答し、前記第 2 の ProSe Function は、前記第 3 の信号に応答して、前記サーバに要求を送り、応答する、

請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

Proximity Services (ProSe) の one-to-one 通信のための移動通信システム内の前記 ProSe をサポートする UE (ユーザ機器) の通信方法であって、

前記 ProSe をサポートするもう 1 つの UE に直接通信要求を送信し、

前記 ProSe をサポートし、

前記直接通信要求に基づき秘密鍵と完全鍵を生成し、

前記秘密鍵と前記完全鍵とを用いて PC5 インタフェースを介して前記もう 1 つの UE と ProSe one-to-one 通信を行う、

UE の通信方法。

【請求項 12】

前記もう 1 つの UE は、前記直接通信要求に基づき前記秘密鍵と前記完全鍵を生成する、請求項 11 に記載の UE の通信方法。